

ラッセル車

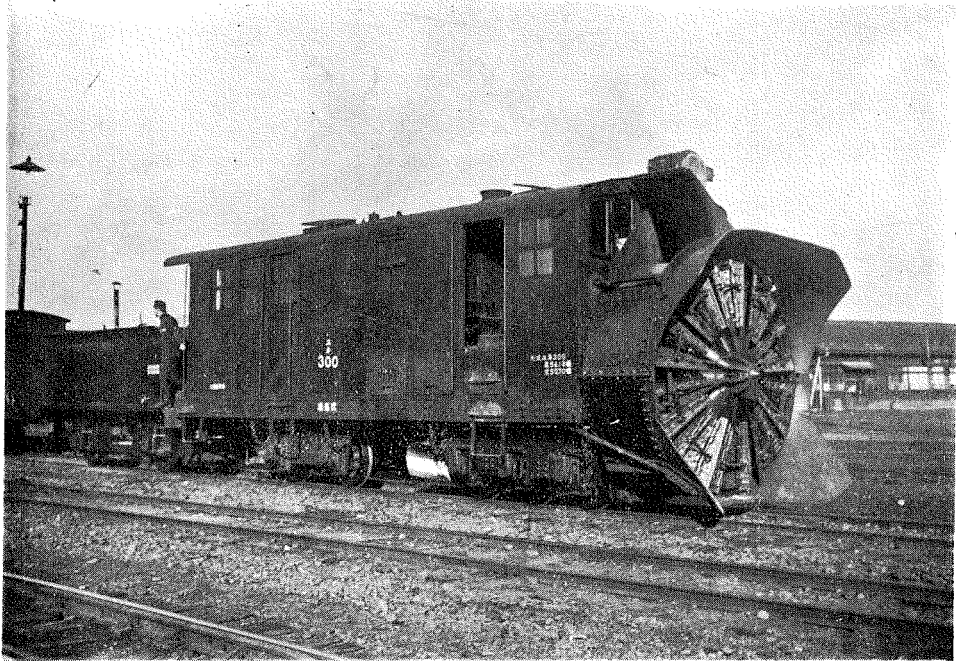
雪中に轟進するラッセル車

ラッセル雪掻車は北海道、東北、北陸、山陰方面に目下八十餘臺活動中。

前部鋤形を成し兩側に羽翼を出入せしめ下部に軌條間の雪氷を搔取るフランジャーを備へ一時間七哩の速力にて突進排雪す。

羽翼並にフランジャーを動かす動力は後方に聯結されたる機關車に於て製作する壓搾空氣に依る。

一臺の價格約壹萬圓



ロータリー車

回轉式雪掻車

鐵道省に於て大正十二年米國より貳臺を購入し北海道さ信越線に常備せり。

前方風車形の回轉器に依り積雪に切込み上方に巨鯨の潮吹く如く半月形に雪を吹上げ八十尺の遠きに飛散せしむ。

回轉器原動力はロータリー車内部に設備されたる蒸汽汽罐に依り、進行は機關車に依る、積雪四尺以上にて最も偉力を發揮す、速度一時間約貳哩。

圖中車體中央下部に見ゆる如きフランジャー（軌條間の雪氷を搔取る装置）を備ふ。